

茨木支援学校 ひまわりフェスタにに行ってきました

訪問日時 平成 29 年 7 月 8 日 (土) 14:00~17:00

地域とともに作るフェスタ

茨木支援学校では草創期より福井地区の地域の皆様とともに学校作りを進めて来られています。

例えば、芋掘りの活動では、校内の畑で活動をしますが、車椅子の児童生徒が、地べたに横になって苗植えができるようにブルーシートを敷くといったことまで地域の方が準備してくださいとのこと。



そして、今回はそれらの取り組みの中でも最も盛大に開催されている、ひまわりフェスタを訪問してきました。

今回のひまわりフェスタには、地域の方はもちろんのこと、卒業生、PTA、大学生、福井高校の皆さんが参加し、たくさんの参加者とともに、ひまわりフェスタを盛り上げておられました。

また、参加者の中には地域デイサービスに通う他の学校の児童や生徒も参加者、地域の高齢者福祉施設の入所者も参加されるなど、地域挙げての行事となっている様子でした。



この写真は、窯業の授業で販売用に分業して製作したお皿です。

学生ボランティアの協力

今回は 14 名の大学生のボランティアが参加。ロートアクトのみなさん、教育実習に来ていた学生やその学生さんのつながり、また支援学校に関わられている大学の先生のゼミ生のみなさん。そして、教頭先生の教え子のみなさんも応援で参加されているとのこと。たくさんの学生の皆さんが、校内のいろんな場所で活躍されていました。

下の写真はロートアクトさんがフランクフルトの模擬店を担当されている様子。



皆が楽しめるように工夫されたゲーム

皆が楽しめるように、
ちょっと押したら転がるボウリング。

上からたたくとボールが飛び出すストラックアウトなど、たくさん工夫が施されていました。

また、ボウリングのピンとボールは地域のボウリング場が閉鎖の時に頂いた本物。



先生方は、児童生徒とともに校内を回るので、お店の担当は、ボランティア、地域、保護者のみなさんの協力で成り立っています。

地域の自治会や公民館長、小学校の校長先生はストラックアウトのコーナーを担当。ここでも大学生ボランティアが大活躍。



もっともハードな焼きそばの担当はPTAのみなさま、大行列ができる名店となっていました。

プラ板は今年からのお店だそうです、イラストの準備や、待ち時間の番号札配布など工夫が満載。





福井高校のダンス部によるダンス。小中高等部の時間帯に分けてそれぞれ異なるダンスを披露。



平田中の生徒会は綿菓子コーナーで活躍



奥野校長先生は支援学校でこそ、外国との交流が必要ではないかとの思いから、前任校では韓国の学校とスカイプを使って交流を実施されました。今年、シンガポールの学校と交流を実施されたとのこと。

【写真：左から奥野校長、PTA 会長木下さん、吉田事務長】

校長先生の話

様々な行事が地域に根付いており、多くの場面で地域に助けて頂いています。地域の陶芸教室や茨木市内の高校とも交流を進め、地元のタクシー会社茨木高槻交通からも協力をいただき、餅つき大会も盛大に実施。今回は福井小の校長先生もストラックアウトの担当者で来て頂き、福井高校の校長先生にもダンス部とともに来て頂きました。

地域が一体となって、支援学校とともに歩まれています。